

秋の法要・福祉講座・ミニコンサート



それ程、この度の秋の法要が盛大に勤まったのも、こちらの小笠原望先生が、遠いところ来て下さったからです。先生は、22年前まで高松赤十字病院におられたので、ゆかりのある方や、かつて先生の講演を聞かれた方などで本堂があふれ返り、立ち見が出る程でした。先生が長年、取り組まれたお仕事の確かさを肌で実感し敬服致しました。お話しの内容は、先生が四万十で取り組まれている訪問診療での日常から始まりました。

9月1日(日)午後1時~徳成寺で、秋の法要が雨にたたられることもなく勤まりました。多くの方からお問合せ頂き、初めての方や久しぶりにお参りして頂けた方も大勢おられ、何よりでした。朝からのお斎(食事)作りのスタッフ何人もで、バリバリ取り組んで頂いておかげで、たくさん作ったお食事もお完食と相成りました。そして参詣の皆さんと一緒に、正信偈を唱えることができ有難かったです。



「死ぬまで生きる」と題した講演を、聞き終わったお参りの方が「よかったなあ。気持ちがやわらいだなあ」と仰ったのが印象的でした。私は「自然の中の人間」という言葉が心に残りました。人間が自然より大きくなり過ぎですからね。左の写真は、ラフターヨガで、フッフ！ハッハ！ヤッター！イエー！！の様子です。「ふるさと」と「赤とんぼ」をみんな合唱できたのも、しみじみできて幸せなひと時でしたね。

寺ともサービスデーは青木精一さんのサクソミニコンサートです。「五木の子守唄」に始まり、「オズの魔法使い」や「サマータイム」などの洋楽と「千の風にのって」「ひこうき雲」「川の流れるように」などの日本の曲合わせて十曲をたっぷり披露して下さいました。最後には青木さんが敬愛するサザンオールスターズの「いとしのエリー」で締めて下さいました。サクソの音色がとても心地よく響き、参加者一同穏やかな気分になりました。

